

10109その他の食料品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	11~12	当社工場内で、次の作業をするために商品トレイを持って工場内を歩行中、床の水気で足を滑らせて後方へ転倒し、後頭部を負傷した。	60	2	417	10 ~ 29
2	2017	12	10~11	レトルト第1工場充填作業室内にて、年末大掃除のため壁および窓の清掃を実施中、被災者の後方5m先で、大掃除のため仮置きしていたパレット10枚を、フォークリフトを使って移動しようとするが爪が上手くささらず、ずれたパレットを直そうとする際に滑り落ちるように荷崩れした。その音を聞いて驚いた瞬間に、壁際床面と床面の段差に躓くような形で前方に転倒し、壁面に備え付けの水道蛇口と壁際床面にて左足前大腿部を強打した。	62	2	417	100 ~ 299
3	2017	12	6~7	原料納品のためラックを運搬していた際、足を滑らせて転倒した。その際にラックを掴んだ右腕を捻ってしまい、右肩脱臼を負った。	72	2	417	50 ~ 99
4	2017	12	9~10	工場内で作業中、トイレに行くために移動した際、野菜加工のために濡れた床で滑り、バランスを崩して転倒し、負傷した（長靴装着有り）。	69	2	417	30 ~ 49
5	2017	12	9~10	製麺工場内製麺室において、圧延ローラーを清掃中に、電源を落さずローラーの内側に手を入れ、左手の指を骨折した。	26	7	163	100 ~ 299

6	2017	12	13~14	ハンバーグ製造室にてハンバーグを製造中に、ハンバーグ成形機を稼働させながら、ホッパ内の残りの挽き肉を下に落とすために手を入れ、回転羽に指を挟まれてしまった。	61	7	165	—
7	2017	12	15~16	店舗にて、盛り込み室から休憩に向かう途中、前方にあったエプロン掛けの足に気付かずつまずき、エプロン掛けの支柱の突起物に掴まったところ、左手親指付け根を3針縫う裂傷を負った。	70	8	379	100 ~ 299
8	2017	12	15~16	工場内前室にて、台車に載せた半製品を包装室内に運び込もうとした。その際、入口のブラインドシャッター前に台車を置き、ブラインドシャッターを上昇させた時に台車がブラインドシャッターに触れ、台車がブラインドシャッターに押される格好となり、その流れで体を押され、尻餅をつき負傷した。	60	6	391	30 ~ 49
9	2017	12	12~13	工場にて、ふかし室の天窗を清掃するため、梯子をかけて作業していたところ、梯子の土台部分が滑り出したことで作業者がバランスを崩し約3mの高さから落下し腰を強打した。	42	1	371	30 ~ 49
10	2017	11	11~12	給食厨房室にてガス台横にある配膳台に向かって歩いていたところ転倒し、左膝、右腕、顔面を打撲した。	64	2	416	100 ~ 299
11	2017	11	18~19	給食センターでの調理業務等を終え帰宅するため駐車場へ向かう途中の外階段で暗くて足元がよく見えず最後の一段（高さ14cm、幅24cm）を踏み外し転倒した。左足首に痛みがあったが自分で車を運転して帰宅し、翌朝病院を受診し、左足関節の捻挫で4週間の安静治療を要すると診断される。	61	2	413	50 ~ 99
12	2017	11	9~10	学校給食センター厨房内において野菜を切っていたところ、誤って包丁で左手の中指を切った。	47	8	364	1~ 9
13	2017	11	8~9	洗浄室で洗浄準備をしている時に、足元のかごを置く台に躓き、目の前の移動式ラックに掴まろうとしたが、ストッパーを掛けていないため動き、そのまま正座の状態に強く両膝を	77	2	362	30 ~

				ついた。元々足が悪いため、踏ん張れない状態もあったと考えられる。				49
14	2017	11	10～ 11	本社工場内、包装機の不具合調整中、包装機の製品ガイドの調整を運転中に行い、すぐ下の回転式カッター刃に指先が接触し、損傷を負った。	38	8	165	30 ～ 49
15	2017	11	16～ 17	製品の漬物の発送及び製品の品質管理について上司と話し合いを行っていたが、途中意見の違いから口論となり上司より一方的に暴力を受け負傷したものである。	57	90	921	1～ 9
16	2017	11	13～ 14	巻物で使用する海苔を入れたカートを運搬中、ポリッシャー清掃中で濡れた場所を通った時に足を滑らせ転倒した。その際手を地面についたため、右肩峰あたりの筋を痛めた。	51	2	416	500 ～ 999
17	2017	11	10～ 11	荷卸しを終え、フォークリフトの爪を荷台の上に載せて、空箱をトラックの荷台に積みながら荷台を整理する作業をしていたところ、足が絡まり誤って荷台から落ちた際にフォークリフトの爪に頭をぶつけ負傷した。	50	7	163	30 ～ 49
18	2017	11	10～ 11	本社工場内でトイレから戻って歩いている時、通路の左側にある里芋が入っているコンテナに躓いて右側の桶に寄り掛かるようにぶつかり、胸の右側の肋骨を骨折した。	72	3	611	30 ～ 49
19	2017	10	15～ 16	当社工場内にて、ヤードクレーンバケット吊り具を反転しようと両手で捕まえて持ち上げた際、吊り上げ治具とワイヤーロープを連結するボルトナット抜け防止用の割ピンに右手薬指の第2・3関節が接触し裂傷した。	36	8	379	50 ～ 99
20	2017	10	0～1	パン（コンテナ）振り分け時の事故。パンコンテナを所定の場所に置いてまた次のコンテナを取りに帰ろうと振り向いた時に、ヨコにコンテナが有り、コンテナの淵（1cm）部分が右目に当たり眼球（膜）を怪我した。振り向き様、丁度目の高さだったために回避できず怪我をした。	38	3	611	100 ～ 299

21	2017	10	7~8	組合本社工場内で下処理室から調理室へ移動する時に足洗い場で、滑って転倒。右手で体を支えるように倒れたため、右手首を骨折した。	67	2	417	30 ~ 49
22	2017	10	11~ 12	商品切替え時必要な備品を取りに行った際、足元の水漏れに気づかず滑って尻餅をつく。	40	2	416	100 ~ 299
23	2017	10	10~ 11	2tトラックにて配達中、納品先に到着後、運転席よりおりた際、足元に先日より雨のため水溜をよけようとし右足をふんばった際に右膝に変な力が加わり、膝より異音がし、その後強い痛みと共に右膝が曲がらなくなり歩く事がままならなくなった。	55	3	417	1~ 9
24	2017	10	12~ 13	パレットの上に30kgの玄米袋を7段積み上げ（高さ1m60cm）積み上げた一番上の袋を開ける為に袋を手前に引いた際、左手首を捻り負傷する。	32	19	611	30 ~ 49
25	2017	10	13~ 14	製造現場にて段ボール箱に箱詰めされた商品をカゴ車に積んでいる際に箱の下部を持って置こうとした時、カゴの鉄枠部分と商品の中に左手中指と人差し指の根元部分を挟んでしまい、挫傷した。	37	7	611	100 ~ 299
26	2017	10	12~ 13	蒸気釜でこんにゃくのボイル作業後に蒸気釜内のお湯を切る為に傾けた。蒸気釜内のお湯を排出中に体を横にした為、前掛けで覆われていない右足の長靴にお湯が入り込み、火傷を負った。	57	11	312	300 ~ 499
27	2017	10	9~ 10	駐車場において、製粉（30kg）を配送中、段差で左足を踏み外し、捻挫受傷した。	35	1	418	30 ~ 49
28	2017	10	14~ 15	この事故は当社工場2F冷凍餃子急冷室において、野菜のフードカッターの刃を、スポンジを使用して洗浄していたところ、手が滑り誤って刃に触れてしまい、左手中指を切ってしまった事	49	8	165	100 ~

				故。				299
29	2017	9	22～ 23	生産終了後にタンクを運搬中、床にこぼれていたうどん麺を踏み靴底に麺が付着して、すべり転倒して、尻、腰を打撲した。	62	2	417	100 ～ 299
30	2017	9	11～ 12	当社調理場にて、老健施設昼食準備中にスライサーにて、野菜エンガリを切っていたところが手元がくるい、刃に当たり負傷したものである。	26	8	169	10 ～ 29
31	2017	9	11～ 12	冷蔵庫内でピッチング作業をしている時に、在庫品から製品をパレットに積み付ける作業を続けていると、腰を痛めて作業ができなくなった。	48	19	611	100 ～ 299
32	2017	9	16～ 17	当社工場内において、千切り機で牛蒡をカットする作業中に誤って左人差し指が機械の刃に触れてしまい負傷した。	27	8	165	10 ～ 29
33	2017	9	12～ 13	厚揚げを包装中、左足が台車に接触して転倒し、頭部を机にぶつけ、また肋骨に商品を入れたカゴがぶつかった。	68	2	362	30 ～ 49
34	2017	9	7～8	小学校の給食室で小松菜を切っていたところ、他のシンクに溜めていた水が一杯になり、水を止めるために急いでシンクに移動した際、濡れた床で滑って右足が前方に流れたために左膝を強く床に打ってしまい、左膝の皿が割れてしまったものである。	56	2	416	10 ～ 29
35	2017	9	8～9	配膳先にて、配送車へコンテナ回収している時、トラックのテールゲートとコンテナの間にはさまれ腰を打った。腰に痛みが出た。	66	7	611	30 ～ 49
36	2017	9	11～ 12	食品の詰め作業の際、容器を置くために床に敷いてあったダンボールにつまずいて転倒。右ひざをひねったか、床についたかして骨折した。	55	2	416	10 ～ 29

37	2017	8	10～ 11	現場事務所にて、負傷者は、同僚から人事異動に伴う職務引継ぎについて、注意を受けていた。注意内容は、終えていない仕事について、期日を設けて終わらせることと、その対処についてであった。この注意は日常再々受けており、当日は感情を抑えて聞くことができなくなり、その場を早く立ち去りたいとの思いが強く、立っていた出入口付近から事務所を出ようと勢いよく振り返った際、左肘が窓ガラスに当たって破損させ、怪我をした。	47	3	414	30 ～ 49
38	2017	8	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。その後、そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているピンとミキサー壁面に入れた右手を挟まれた。	41	7	165	100 ～ 299
39	2017	8	12～ 13	敷地内において、帰宅時に階段を降りていたところ、足を踏み外し、左足を捻挫し、剥離骨折した。	51	19	413	500 ～ 999
40	2017	8	10～ 11	本部工場ティーバッグ製造部において、お茶のティーバッグ製造作業中、原料のお茶の重さを調整するため、計量升のつまみを動かしていたときに、すり切り可動部に右手薬指を挟み込み、指先から15mmの部分の部分を切ってしまった。	57	7	165	30 ～ 49
41	2017	8	8～9	調理室（検収室）で、大根の保存食をとる作業中、左手に包丁（本人の利き手は右手）、右手に大根を持ち、3段エレクターシェルフの中段に置いたざるの上で切ろうとしたところ、右手人差し指の第1関節と第2関節の間の親指側の側面をめくるように切った。	50	8	364	1～ 9
42	2017	8	15～ 16	計量室にて、水に濡れて滑りやすくなった床で、足を滑らせ転倒した。倒れる際に脇腹をゴミ箱に強く打ちつけ、肋骨が2本折れた。	64	2	417	500 ～ 999

43	2017	8	3~4	店舗盛込み室で、ベルトコンベアを折りたたみ、ベルト部分を緩ませて裏側に付着した汚れの拭き取り作業をしていたところ、折りたたみ方が中途半端だったため、拭き取りによりベルトを引っ張ったために完全な状態に折りたたまれてしまい、右手中指を挟んでしまったものである。	70	7	224	100 ~ 299
44	2017	8	9~10	包装カット室にて、前準備の為、使用器具の確認をしていたところ、保管されていた玉子焼カット機の刃が上を向いていた為、向きを反対にしようとした際、誤って刃の部分を掴んでしまい切ってしまった。	67	8	165	50 ~ 99
45	2017	7	12~13	被災者が昼休憩終了前にお手洗いかから作業場の摘み取り現場へ歩いて移動していた際、作業場へ向かう途中の部屋に、桶へ水をいれるために床を這わせていたホースがあった。そのホースに足を引っ掛け、前方向へ躓き、両膝をコンクリート床にぶつけ負傷した。	67	2	417	50 ~ 99
46	2017	7	13~14	庫前の廊下で材料を運搬するため台車を手で押して移動している時右足先が床に引っ掛かり、前方に転倒して右足親指を骨折した。	58	2	362	100 ~ 299
47	2017	7	16~17	当社工場内、冷凍室において材料を格納する作業を行っていた。材料を冷凍室に置き、冷凍室を出ようとしたところ、棚に置かれていた材料に気を取られていたためか、誤って着氷した床面で足を滑らせて後ろ向きに転倒。咄嗟に右手をコンクリート製の床面につき、右手首を負傷したもの。	50	2	417	50 ~ 99
48	2017	7	11~12	味噌の仕込み桶で、桶内の洗浄作業を行うため、内部に立て掛けたはしごを下りている時に足を踏み外してしまった。この時、安全ベルトをしていなかったため、約1.5mの高さから落下してしまい、両足の踵を骨折した。	61	1	371	100 ~ 299
				きのこ培地のビンに穴を開ける機械で（台座をモーターで上下させ16本のビンが入ったコンテナを持ち上げて穴を開けてい				

49	2017	7	7~8	く) 台座が一番上に持ち上げられた状態で止まってしまい、下げるためにモーターブレーキを解除し台座を上から押した。その時に台座とフレームの間に足先が入っていたため挟まれ負傷した。	65	7	165	50 ~ 99
50	2017	7	3~4	洗浄室の投入側で、ステンパンチ鋼があり、お湯をかけて洗っていた際に低温火傷を負った。手袋は白手袋をしており、水疱もなく、外傷も確認できなかった。帰宅後、痛みが出て診察の結果熱傷と判定された。	26	11	911	300 ~ 499
51	2017	7	21~22	定温トッピング室にて製品を番重に入れて積みあげていく作業をしていたところ慣れない作業のため慌ててしまい、腰を痛めてしまった。	46	19	379	500 ~ 999
52	2017	7	13~14	他の社員がたたんであった手前のカゴ車を引き出した時、豆腐を製造中の被災者の背中に後方のカゴ車が倒れた。	45	5	362	30 ~ 49
53	2017	7	15~16	被災者はコミットロールの組み立て作業を行っていた。カッティングヘッドの取り付けでスパナでボルト締め付けを行っていた際に、スパナがボルトの頭から外れた拍子にスパナが手から外れ、右目に当たった。	56	4	364	100 ~ 299
54	2017	6	15~16	盛付Aラインにて、盛付終了後、次の商品への切替準備のため、残った具材の入った台車を押して運搬していたところ、滑って転倒し、臀部から腰にかけて強打した。全く動けない状況だった。レントゲンの結果、異常はなかった。	55	2	417	300 ~ 499
55	2017	6	10~11	調理場の野菜カットコーナーで、五目ビーフンに使用する玉葱をカットする作業中に、左手で押さえていた玉葱の薄皮が滑り、右手に持っていた包丁で左手薬指の先を爪と共に切った。包丁が新しくよく切れたため、指先を切り落とした形となり、病院を受診し2針縫合した。(左環指先端切創) その後、	45	8	379	10 ~ 29

				消毒に毎日通い、1週間後の抜糸となった。傷口が蒸れても濡れてもいけないと医師に言われたため、抜糸まで調理業務を休んだ。				
56	2017	6	14～ 15	洗浄室で、排水口のごみを取ろうと排水口溝蓋をずらした時に、指を挟んで怪我をした。	36	7	419	1～ 9
57	2017	6	11～ 12	工場包装室で惣菜のパック包装作業中、空になった容器を片付けようと運んでいる時に、足元にあったカートに躓いて転倒し、胸部を地面に打ちつけて肋軟骨骨折をした。	64	2	417	100 ～ 299
58	2017	6	13～ 14	本社工場1階出荷場で、両手に大きなゴミ袋を持ち、足元が見えにくい状態でゴミ捨て場に向かっていた途中、パレットが1枚置いてあるのに気付かなかったため、パレットの角に足が引っ掛かり転倒し、左膝を強打し負傷した。	56	2	379	100 ～ 299
59	2017	6	15～ 16	第1工場にて紙巻機械で作業中、栽培ビンが倒れたため元に戻そうと、機械の床より1mの部分に上がり（通常はビンを起こす時は専用の棒で起こす）、ビンを起こして床に降りる時、右足に負荷がかかり負傷した。	43	3	417	50 ～ 99
60	2017	6	11～ 12	親子丼焼成ラインにて、高温の鉄皿を容器に移しかえる作業中、ルール通りビニール手袋3枚、軍手1枚を着けて作業していた。熱を感じていたにもかかわらず我慢し、誰にも報告せず生産終了まで作業を続け、低温火傷を起こした。	26	11	529	300 ～ 499
61	2017	6	15～ 16	会社構内において全体清掃中、開閉ドア付近を拭いていたところ、誤ってドアを勢いよく閉めてしまい、その際に左手薬指と小指を挟んで負傷したものである。	45	7	418	10 ～ 29
62	2017	6	8～9	自宅を出て会社駐車場（第二駐車場）到着し、車から降りて100メートルほど歩いたところで躓き転倒した。その時に左足首をひねり転倒したままで、同じ職場の事務員に支えてもらいながら会社更衣室まで歩いた。しかし左足首が痛む為、病院に行きレントゲンによって骨折が判明した。	58	2	417	100 ～ 299

63	2017	5	9～ 10	胡瓜選果機の製品ラインで製品を待っている途中、誤って右手がローラーとベルトの間に挟まり、右手の甲を損傷した。	22	7	224	50 ～ 99
64	2017	5	13～ 14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	2	417	10 ～ 29
65	2017	5	0～1	前処理室設置の具材の検品台を、洗浄清掃のため移動させようと右手で引っ張ったが、車輪ストッパーが掛かったままであったのでスムーズに動かなかった。横着してストッパーを外さず、少し勢いをつけて引いたところ、本人に向かって検品台が倒れてきて、背中に検品台に付属の照明器具の部分が当たり打撲となった。	50	6	379	100 ～ 299
66	2017	5	15～ 16	自社工場で餃子を製造中に、麺ローラーから流れ出る材料の麺が切れたため成形機に麺をセットすることが出来ず、誤って機械の奥に指先を入れてしまい、機械の刃で左手指先を負傷する。	45	8	165	50 ～ 99
67	2017	5	7～8	機械へ原料を投入する為にパイプの取付作業を行おうとした際、通常利用する長い脚立（110cm）が他で利用されていた為、短い脚立（78cm）を使用し脚立に登ったところ、通常の長い脚立を使用していると思い込み、足を踏み外し落下した。落下時に左腕と左足を天板や脚立横に配置されていた掃除機にぶつけ負傷した。	54	1	371	100 ～ 299
68	2017	5	14～ 15	出向した被災者は、当該飼・肥料製造工場内で、飼・肥料の製造作業中、各スーパー店舗から納入された食品廃材（原料）と米ぬかを自動攪拌機に投入し、混合させていたところ機械内の攪拌回転軸2本のうち1本が停止した為、軸と付属している攪拌羽（長さ20cm×幅10cm、鉄製）を右手で押した際に突然回転軸が作動し、攪拌羽と機械内側壁の間に右手中指と環指を挟ん	67	7	162	1～ 9

				だ。(ゴム手袋着用)				
69	2017	5	10～ 11	調理場の1階調理室内で、釜で調理した鶏肉と野菜のトマトソース煮を配缶する際、釜の蓋(重さ約7～8kg)が突然閉まり、頭部及び左腕に当たった。左腕が腫れるとともに痺れが出た。	20	7	165	10 ～ 29
70	2017	5	17～ 18	当社工場内で、ゴマをすり潰す機械の点検作業中、誤って回転する機械に右示指と中指が巻き込まれてしまった。	56	7	165	10 ～ 29
71	2017	5	13～ 14	営業所にてコンテナ回収作業時に、コンテナをトラック荷台へ積み込む際に、設置済みのコンテナ仕切りバーとコンテナの間に指を挟み込んでしまい、右手人差し指に裂傷を負った。	44	7	611	100 ～ 299
72	2017	5	2～3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	3	391	100 ～ 299
73	2017	4	1～2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	2	529	100 ～ 299
74	2017	4	10～ 11	壁はしごを踏み外して落下し、左手薬指付け根を柱に強打し骨折した。	27	1	413	50 ～ 99
75	2017	4	14～ 15	パレットに詰まれた材料(ジャスミン原料)を運んで、機械の手前の台に置こうとした時に手を滑らせてしまい、床に落としそうになったので、材料を左手で受け取ろうとした際、床と材料で挟まれてしまい、左手薬指を負傷してしまった。	31	7	611	50 ～ 99
76	2017	4	7～8	工場1階食材準備室内にて茹で卵(既製品)の出荷中、150ヶの茹で卵と保存液で約14kg、入れる番重約2kgと計16kgのものをうっかり2段一度に持ち上げてしまった。その際、重量の負荷	64	19	921	300 ～

84	2017	3	9~10	ライスセンター内資材倉庫で台車から油缶（約15kg）を降ろしているときに、腰の右側に痛みがはしり身動きができなくなった。	43	19	921	100 ～ 299
85	2017	3	6~7	野菜下処理室にて、排水弁の蓋を閉めようとした際に足で閉めようとして滑って転倒した。	62	2	521	500 ～ 999
86	2017	3	5~6	出勤時に自家用車を駐車場に止め、物流プラットフォーム前を歩行中、積雪により段差のところで滑って転倒し、左肩を強打した。	70	2	719	100 ～ 299
87	2017	2	23~24	工場内で容器が入っているダンボールから容器を投入しようとした際に、上部で詰まり、滑って落ちてきたので、下のダンボールとの間で受けようとした際に、挟まり右手中指を痛めた。	62	7	611	100 ～ 299
88	2017	2	5~6	バット洗浄室で、バットの洗浄中、濡れている床で足を滑らせ転倒した。体の左側、腰から肩、顔にかけてを床面で打ち打撲・捻挫を負った。	41	2	416	100 ～ 299
89	2017	2	17~18	1号釜で麺を茹でる時に機械を始動させても釜が動かなかったの で、釜上部の駆動部分を確認しようとステップ台を出さない状態 で上に足を掛け、確認後降りようとした際、足を滑らせて転 落し、2号釜のステップ台で腰部を強打し負傷した。	36	1	416	100 ～ 299
90	2017	2	10~11	会社の料理などの出荷口の階段で料理などの荷出中に足を滑らせ転倒した。その際、左方、左腰を打撲した。	38	2	413	100 ～ 299
91	2017	2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	19	611	300 ～ 499
				製麺室にて作業用の手袋を装着した状態で、焼きそば用の麺を				300

92	2017	2	16~17	圧延する作業時に、圧延機（以下ロール）に送り込んだ麺と一緒に人差し指の手袋が巻き込まれ指先を負傷した。直ぐに非常停止ボタンを自分で押し、自力で指を抜く。	63	7	163	~ 499
93	2017	2	14~15	加工場サンドイッチラインでサンドイッチの製品にラベル貼り作業をしており、その作業が終了したので次の作業のサンドイッチのカット作業をする為に早歩きで移動した。サンドイッチカット作業位置付近がその直前に濡れており、拭き上げた直後だった為左足を滑らせ転倒した。	35	2	417	~ 499
94	2017	1	15~16	当社工場で冷凍製品包装作業中に、冷凍庫の中で冷凍剤未包装の製品を取り出す際、足を滑らせ胸を打ち、肋骨を骨折した。	47	2	416	1~ 9
95	2017	1	10~11	弁当を納品中、14段の階段を上りきった時に立ち眩みがし、14段の階段を転げ落ち、左目下を負傷した。メガネの破損が原因と思われる。	53	1	413	50 ~ 99
96	2017	1	15~16	畜産作業場で牛、外ももを成形中、包丁を使用し脂を取ろうとした際、脂ですべって左手小指を切った。	49	8	364	100 ~ 299
97	2017	1	16~17	本社工場構内にて製粉作業を終了後、杵を順番に上げていく際、ロックが不完全だったために、杵が手の上に落下し負傷した。	61	7	165	10 ~ 29
98	2017	1	20~21	中央工場もち麦ラインSP包装場にて、スティック梱包機が稼働中異音に気づき点検をした際、スティック梱包機の計量上昇のカバーがずれており、定位置に戻そうと機械を停止させずカバーを掴んだ為、前後に動いているシリンダーに左手中指を挟み負傷した。	44	7	169	100 ~ 299
99	2017	1	2~3	1Fでパンチング装置を点検している時に、往復動作をする部分に残った製品を手で取り除こうとし、別の作業員が当該作業員に気づかずに稼働スイッチを入れたため、往復動作が開始され、下がってきた部分に引き抜こうとしていた右手甲をえぐら	47	7	169	100 ~ 299

				れた。				
100	2017	1	13~ 14	当社パスタ室で、麺茹で槽の塩分値を決定する時に、槽からボールで、お湯を採取した際、槽のお湯が突沸上昇し腕に掛り、右前腕内側に熱傷を負った。	19	11	715	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。